

「外部労働市場型の職業能力評価制度の構築」について
ご議論いただきたい具体的論点

1 共通

- いわゆるジョブ型労働市場の広がり等を踏まえ、労働市場インフラとしての職業能力評価制度の役割や今後の在り方をどう考えるか。
- 職業能力評価制度の役割を十全に発揮する上で、教育訓練、キャリア形成支援、マッチング等との連携が重要と考えられるが、具体の連携についてどのように考えるか。

2 業界検定について

【総論】

- 対人サービス分野等にターゲット設定の上、業界検定といった業界自らが主体となった職業能力評価の仕組みを整備していくことについてどのように考えるか。

【実施主体】

- 人材ニーズを直接把握し、採用選考・人事処遇の主体ともなる業界団体が、業界検定の対象職種の設定や、人材ニーズ等を踏まえた実施の基本となる計画の策定等、制度設計の実質的な主体となることについてどのように考えるか。

【検定の実施体制・質保証】

- 業界団体が、その有するノウハウ、リソースを反映して、試験問題・実施要領の作成、合否基準の設定、試験実施等を行い、これに対して質保証の観点から国が関与していくことについてどのように考えるか。

【国による支援等】

- 業界検定の効果的な開発、安定的な運用を期す上で、国が必要な支援を行うことや合格の社会的効果についてどのように考えるか。

【その他】

- 業界検定を業界共通の「職業能力のものさし」として、人事・採用の場面で有効に活用する方策についてどのように考えるか。

3 技能検定について

- 業界検定を整備するにあたって、既存の技能検定制度等との関係をどのように考えるか。